

第26回大気化学討論会で千葉大から2名が学生優秀発表賞！

2021年11月9日～11月11日に日本大気化学会の年会である第26回大気化学討論会がオンラインで開催されました。そこで、リモートセンシングコース所属の齋藤研究室の関英人君と入江研究室の大野健君の2名が優秀学生発表賞を同時に受賞しました。この賞は、日本大気化学会の運営委員の投票で討論会にて特に優秀な発表をした学生に対して贈られるもので、本討論会では口頭発表2件、ポスター発表1件の計3件の発表に賞が授与されました。

(入江仁士、齋藤尚子)

受賞者の声

GOSAT/TANSO-FTS による成層圏オゾン濃度観測可能性の評価 —2011年北極オゾン減少

齋藤研究室 修士2年 関英人

この度は大気化学討論会にて学生優秀賞をいただきました。私は修士2年なので大気化学討論会への参加は今回が最後になりますが、最後に学生賞を取ることができてとても嬉しいです。社会人になった後もこの経験を生かして頑張っていこうと思います。指導してくださった先生と研究室の仲間に感謝です。

再解析エアロゾルデータの精度検証に基づくインドシナ半島の光散乱/吸収 AOD の時空間変動

入江研究室 修士1年 大野健

この度は学生優秀発表賞を授与していただき、非常に光栄に思っています。まずは、日頃熱心にご指導をいただいております入江准教授や研究室の皆様へ深く感謝しております。今後は本研究を学術論文として発表することを目標とし、研究室メンバーと切磋琢磨しながら研究をしていきたいと思っています。

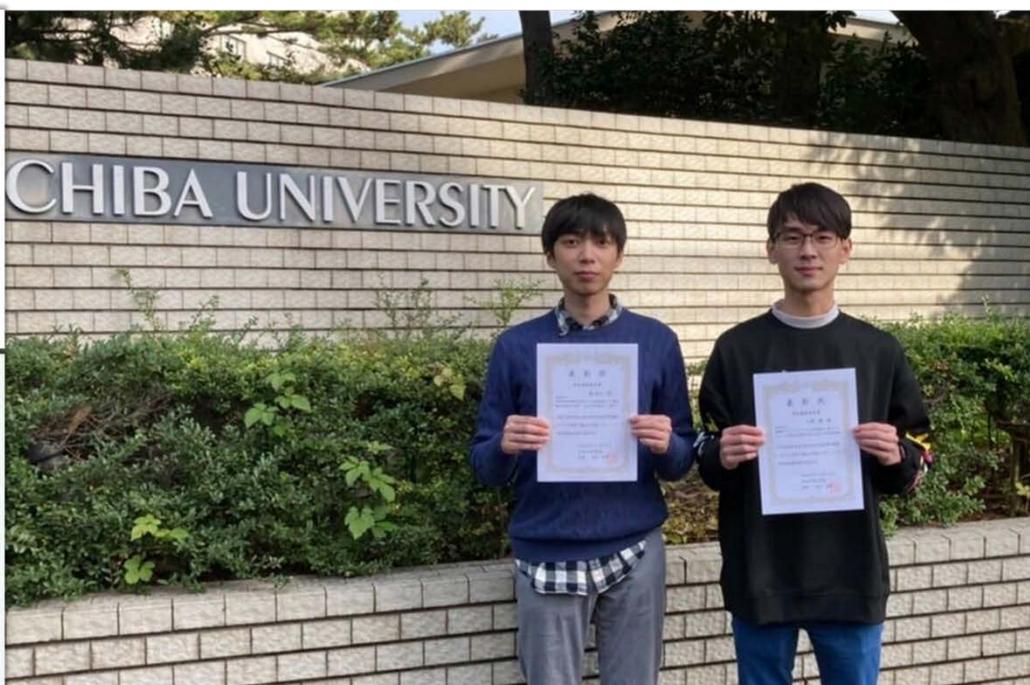


図1 表彰状と記念写真 (左：関英人君、右：大野健君)